

JOURNAL



平成24年度男女共同参画フォトコンテスト最優秀賞「これだいの？」 櫻町 良真 さん

Contents

- 誌上講座レポート…老若男女の幸せと地域の活力を育む
- 事業紹介…育児ママのしぶん計画セミナー
- 特集…働く女性が活躍できる社会
- 事業紹介…上峰会、フックタイム
- 相談室だより…DV事件に見る加害者像
- 男女平等政策課からのお知らせ…市の審議会等委員への女性の登用率
- キラリ☆かがやく人 interview
- 図書情報ステーション…わたしと仕事

2013
vol.44

http://www.city.kurume.fukuoka.jp

キラリ☆かがやく人 interview

久留米市でいきいきと自分らしい生き方をしている方をご紹介します。

たなか みちこ
田中 美智子さん

南トータルオフィス・カナカ代表取締役
総合営業プロデューサーや人材育成などの業務を手がける。働く女性を中心としたコミュニティ女性の会を立ち上げ、現在は協賛企業として参加している。男女平等推進センター主催の女性起業支援セミナーの講師を務める。



● 起業をしたきっかけは？

10年間専業主婦をしていて、子育て中にできる仕事として、自分で時間を管理できる営業の仕事に就きました。そこでは信頼やコミュニケーションの大事さ、相手に何を伝えれば理解してもらえるかを学びました。一方で苦労しながら仕事を頑張っている女性のお客様や同僚の多くが育児や家庭を理由に夢をあきらめていることを知り、とても残念に感じました。それがきっかけで、人材育成や営業支援を行う営業プロデューサーとして独立しました。

● 「女性の会」ではどのような活動をしていますか？

2006年に独立しましたが地域の企業との関わりはなく、情報交換や共に切磋琢磨する仲間が欲しいと思い「女性の会」を立ち上げました。

女性の会では、起業している女性や夢に向かって努力している女性たちの名利交換会や自己アピール会を開催しました。そして今は法人化し、自分の思いを話す機会がない女性たちに、人前でその思いや夢を語るきっかけになればと、20枚のスライドを20秒ずつ合計400秒でプレゼンテーションをする「ベチャクチャナイト」というプレゼン会のシステムを取り入れて活動しています。

● 起業したいと思っている女性に伝えたいことは？

女性は、着眼点、コミュニケーションのとり方、感性、ソフトさなどが豊かだと思います。しかし、そのアイデアや思いつきを「私がやるう！」と行動を起こす人は多くありません。確かに、本当のやりがいを見つけたら夢や希望を叶える事は楽なことではなく、人一倍の努力が必要です。しかし、覚悟を決めて一歩踏み出せば、力になってくれる仲間、応援してくれる人は必ずいます。「一人じゃない、こんなに仲間がいるよ」ということを伝えていきたいと思っています。

わたしと仕事 図書情報ステーション

わたしの道を見つけて歩き出すための本

世界を変えるオシゴト

社会企業家になったふたりの女の感動物語
マリ・ソー、キャロル・チャウ
(講談社) 2010年
貧困と格差にあえぐ地球に立ち上げたビジネスが、安定した雇用と継続的な現金収入をもたらしました。いまだに電気も水道もない生活を強いられる人々に、未来の選択肢を広げようとする彼女たちを、オシゴト(仕事)の毛を使ったニットブランドを立ち上げた女性たちの物語。一歩踏み出そうとしている人々に、ピッタリの本です。



働く女子の夢

日本ドリームプロジェクト 編集
(いろは出版) 2011年
何のために仕事をしているの？何が向いているの？これからどうしたいの？仕事に悩む女子に向けて、働く女子の夢を紹介。もっとキラキラした魅力的なワタシになるためのヒントをこの本で探してみませんか。

さあ、育休後からはじめよう ～働くママへの応援歌～

山口理栄・新田香織 (労働調査会) 2013年
出産により「仕事が好きだった自分」をあきらめていた人、そろそろお仕事を始めてみませんか？働くママの仕事と生活の両立のヒントがいっぱいです。また、会社の視点から育休後社員が活躍できるポイントも収録されていて「キャリアを持って」働き続けたいママを支えてくれる一冊です。



● 編集・発行 ●
平成25年8月

久留米市男女平等推進センター

〒830-0037
久留米市藤井野町1830-6
エーるピア久留米内
TEL: 0942-30-7800
FAX: 0942-30-7811
URL: <http://www.city.kurume.fukuoka.jp>
E-mail: depa@city.kurume.fukuoka.jp



- 徒歩/西鉄久留米駅から徒歩約10分(約700m)
- バス/西鉄久留米駅から徒歩約5分
久留米駅から約20分
「新橋町」下車、徒歩3分
- 駐車場(無料)はございますが、おいての限はなるべく公共交通機関をご利用ください。



老若男女の幸せと地域の活力を育む

講師：菊川 律子 さん（九州大学男女共同参画担当理事）

※このレポートは、平成25年6月22日に行われた講演の一部をセンターで要約したものです。

〇女性の家事・育児の負担は今も変わらず

昔と比べると女性の職業選択は多様になり、育児休業などの制度もできて女性の働く環境は良くなっているように見えますが、現実はどうでしょうか。国の調査では、25～34歳の女性において、求職活動をしていない理由は「家事・育児のために仕事が続けられそうにない」（62%）が最も多くなっています。また、既婚の30歳代女性の子どもの数がほしくないので「配偶者の家事・子育てへの協力が期待できない」（24%）とのことです。一方で、男性には、同じ質問に対する回答にそうした理由はありません。また、妻が常勤の共働きの場合、週1～2回でも夫が幼児の子どもの食事をさせたり寝かしつけたりするのは、5～6割であるというデータもあります。

このように、家事・育児の負担は今も女性に偏っており、働く女性は疲労感を募らせていて時間にゆとりがありません。また女性の実家との距離の近さと仕事を続けていることに相関があり、保育所の次に頼りになるのは自分の親という人も少なくないようです。女性が働き続けるための法律や制度は整ってきたとはいえ、働く女性をとりまく環境は昔とあまり変わっていないように思います。

〇男女共同参画は男性のためにもある

男性の単身世帯が増えてます。2010年の国勢調査によると、30～40歳代の単身世帯の3分の2は男性の単身世帯です。

男性の未婚化、非婚化の進行が影響していると思われるが、一人暮らしの男性が会社人間で家事などの生活能力に乏しい場合、老後はどうなるのだらうと思います。

男性も自分のことは自分でできるようになっておく必要があると思います。



（出所）総務省 国勢調査

〇男女の幸せと男女共同参画

これからの時代は男女がともに自立し責任も担うという男女共同参画を若いうちから実践していくことが必要です。特に男性は、「おはよう」の挨拶や「ありがとう」の言葉を言うように心がける、身の周りのことは自分でする、パートナーへの気配りや思いやりを忘れず、お互いの人格を尊重するといったことを生活の中で実行していくことが大切だと思います。その積み重ねが、老後を幸せに暮らすことにつながっていくのではないのでしょうか。

相談室だより

5月下旬に横浜市で起きた元夫から元妻への殺人未遂事件は、あらゆるDV対策を講じながらもなお、起きてしまった事件でした。今回は、DV事件に共通する加害者像について考えます。

●DV被害者の状況

今回の被害者は、DV夫のもとから避難し、2度の保護命令に守られながら民間シェルターで数年間生活し、ようやく自立の歩を踏み出したところで生活した。この間子どもは名前を変えて学校に通い、住民基本台帳の閲覧・交付制限等、被害者の安全を守る現行の支援策を駆使して暮らしていたそうです。このように、DV被害者は、それまでの生活を捨て、人間関係を断ち切られる等、大切なものをたくさん失います。けれども多くの被害者は前を向いて、自分の生活を立て直し、人生を築いていきます。

●加害者の心象と対策は

一方、DV事件の加害者は、自分が管理・支配していた相手が自分から離れたこと自体ありえないと思っています。保護命令の発令や離婚等を実況つけられると、自分に逆らったと考え、現実を受け入れざるを得ない状況でも、それを認めることができません。

また加害者たちに共通するのは、自分の所有物と思込んでいる女性への異常なほどの執着心が、時間が経っても別れた当時と変わらないということです。

加害者のほとんどは、自分は悪くないと考えており、自分が変わらなければいけないとは思っていません。よく加害者更生プログラムの必要性が問われますが、変わりたいと思わない加害者の場合は効果はほとんど期待できないのが現状です。

加害者の責任を明確にする法制度の整備が急務の課題となっています。



～男女平等政策課からのお知らせ～

市の審議会等委員への女性の登用率 43.3%

久留米市の各分野の女性割合
（平成25年4月1日現在）

名称	定数	現委員数			女性の比率%	
		女	男	計		
市議会議員	38	5	33	38	13.2	
教育委員会	6	2	4	6	33.3	
選挙管理委員会	4	1	3	4	25.0	
公平委員会	3	1	2	3	33.3	
監査委員	4	0	4	4	0.0	
農業委員会	45	1	44	45	2.2	
固定資産評価審査委員会	12	3	9	12	25.0	
審議会等委員会等	区分	現委員数			女性の比率%	
		数	女	男		計
		法律・条例等による	82	489		683
設置要綱等による	24	204	243	447	45.6	
計	106	693	906	1,599	43.3	

上映会

図書情報ステーションでは、男女共同参画についての啓発や男女平等推進センターを多くの方に知っていただくために、10月と3月を除く毎月、上映会を行っています。上映する映画は女性の生き方や、家族との関わり、人権についてなどのジャンルから選んでいます。



上映会に参加された方の声

- ・映画を通して自分の生き方を考えるきっかけになった
- ・これからの人生、前向きに明るく生きていきたい

また、就学前のお子さまを無料で一時保育していますので、子育て中の方々にも好評です。なお、一時保育の申込は5日前までに予約が必要です。

上映内容については広報くめや当センターのチラシをご確認ください。なお上映されたビデオ・DVDは貸出しできます。みなさんの参加をお待ちしています。

リフレッシュのためのフックタイム

「育児」のあいまの「育自」の時間

普段は子育てに追われてなかなか読書をする時間をとれない方も、お子さんと離れて2時間ゆっくり自分と向き合えます。「リフレッシュできてよかった」と毎回好評の講座です。育児中の方ならどなたでも参加できます。もちろん、一時保育は無料です。

ただいまリフレッシュ中です

日頃手にしない本も読んでみてください。自分育てのヒントがいっぱいです。



男女共同参画の本や女性の生き方の本・雑誌もご利用ください。



これからの日程

9/13 (金)、9/17 (火)
10/11 (金)、10/15 (火)
11/8 (金)、11/12 (火)
12/13 (金)、12/17 (火)
1/10 (金)、1/14 (火)
2/14 (金)、2/18 (火)

定員各8名 (申込者多数時は抽選)
いずれも10:00~12:00

申込は電話、FAX、メールで
申込受付は実施日の前月の
1日から25日までです。

育児ママのじぶん計画セミナー

子育て中はどうしても子どものことで頭がいっぱいに…そんな育児期の女性を対象に、自分自身のなりたい未来を考えるセミナーを開催しました。

セミナーでは、今の自分と向き合い、3年後、5年後はどんな自分になっていきたいかなどを具体的にイメージしたり、パランスボールで体を動かして心と体をリラックスさせたりしました。最終回には、イキイキと活躍している先輩ママたちの話を聞き、自分たちも何が行動したいと、受講生の自主活動グループ「Juicy mama」が立ち上がりました。



今の私が感じることは…自分の心の声を見つめ直しました。



頑張ってるママも、たまには人に体を預けてリフレッシュ!



輝く自分になるために…講師の犬石紀子さんからたくさんヒントをもらいました。



私の未来を想像し、その実現のための『はじめの一步』を宣言書に書きました。



先輩ママの田中彩さんより
「まずは興味のあることに参加し、行動してほしいです」

☆参加者の声☆

- ・母でも妻でもなく、一人の人間として考える時間や活動する時間も大切だと思いました。
- ・家族全員で未来予想計画を共有するのいいなと思いました。
- ・自分自身は気持ちや行動次第で変われることを教えて頂きました。

働く女性が活躍できる社会

少子高齢化が進み日本の労働力は減少する中、経済成長の担い手としての女性の活躍が注目されています。しかしながら働く女性を取り巻く環境は依然として厳しいものがあり、十分に能力を発揮できているとは言いつらい状況です。

今回は、働く女性を取り巻く状況をふまえ、女性が活躍することについて考えてみたいと思います。

平成24年における全就業者に占める女性の割合は42.3%であり、海外の主要国と比べて大きな差はありませんが、管理的職業における女性の割合は11.1%と低い水準です。

就業者および管理的職業従事者における女性割合



- (備考) 1. 概算「労働力調査(基本集計)」(平成24年)、独立行政法人労働政策研究・研修機構「データブック国際労働動向2012」より作成。
 2. 日本は平成24年、オーストラリアは2008(平成20)年、その他の国は2010(平成22)年のデータ。
 3. 概算「労働力調査」では、「管理的職業従事者」とは、就業者のうち、会社役員、企業の課長相当職以上、管理職の役員等という。「管理的職業従事者」の定義は国によって異なる。
 4. 概算「労働力調査」では、平成24年1月結果から、算出の高齢となる人口が24年国勢調査の確定人口に基づく推計人口(新基準)に切り替えられている。

(出所) 内閣府 平成25年度版男女共同参画白書

企業は女性管理職が少ない理由として、必要な知識や経験などを有する女性が少ないことを挙げています。その背景には入社時点で女性の採用が少ないことに加え、入社後10年間で女性の3人に2人は離職していることが、女性管理職候補が少ないことの一因となっているようです。

女性の管理職が少ない(1割未満)/全くいない理由 上位5つ (平成23年、複数回答)



(出所) 内閣府 平成25年度版男女共同参画白書

内閣府の平成25年度版男女共同参画白書では、女性が仕事と家庭の両立の難しさを心配していることや、近くにロールモデル(お手本)となる女性が少ないことを指摘しています。働きたい女性が仕事と子育てとの二者択一を迫られることなく働き続けられる環境整備が必要です。また、女性のロールモデルや女性社員の相談・サポートをする社員が身近にいることは、女性がキャリアを積んでいく上で重要であるばかりでなく、男性にとっても働き方などを見直す機会になるのではないのでしょうか。

7月に当センターで「ちょっと先行く先輩たちのトークセッション」と題し、働く女性のハネルディスカッションを行いました。それぞれの経験をふまえて、女性が働く上でのヒントをお話しいただきました。



香月 栄子さん

ベストアメニティ株式会社
総務部長

専業主婦から短期パート職員を経て管理職へ

私は専業主婦でしたが、子育ても一段落して時間ができたので、短期パートとして働き始めました。だんだん仕事が面白くなり、3年後には正社員として採用されました。管理職になった当初は不安だったのですが、社内研修で「自分に自信がないのは自分でできない壁を作りそう思っているだけ。考えを変えれば思い通りになる」ということを学び、「責任のある仕事だとなんとかやってみよう。わからないことがあれば周りに聞けばいい」と前向きに考えることができるようになりました。

とはいうものの時間に制約がある中、仕事と家庭の両立が大変で、主任だった時に「役職に見合う仕事ができない」と上司に相談しました。すると上司が「今は子育てで大変だろうけど、時間的制約はいつまでも続くわけではない。今は部下にサポートしてもらい、あなたにしかできない仕事をやらせない。将来あなたの部下が子育てで大変になった時、今度はあなたが彼女たちを支えてほしい」と励まされ、頑張ることができました。仕事をすることで心がけているのは、相手に対してまずはしっかり笑って「かしこまりました」と受けとめること、これからの女性は一歩前に出る勇気を持ち、仕事だけでなく家庭や趣味などバランスよく生活することが大切だと思います。



潤田 直美さん

通信社勤務

「人とのつながり」を仕事に活かす

私は2人の子どもの育児休業を終えて取得したので4年間仕事を離れていました。復帰したばかりの頃は、世の中から取り残されているようで焦りましたが、そんな中で助けられたのが人とのつながりでした。それからは社内だけでなく外部のセミナーなどにも参加し、社外の人ともつながりを広げていきました。また、社内の女性のキャリアアップ研修の中で価値向上委員会が立ち上がったことがきっかけで、研修や異業種交流会などを自ら企画するといった経験を積み重ね、私も女性メンバーそれぞれが自信をつけていきました。

いい人間関係をつくるコツは、コミュニケーションを大切にすること。そのためには自分から先にあいさつすること、相手を笑顔にさせることを心がけています。また仕事をやる上では「できることを考える」ことをモットーにしています。完璧でない自分も認めながらも、自分なりのエッセンスを加えていき、自分で自分をほめられる成果を出すことも大切です。働き方には人それぞれの価値観があります。時には「こうあるべき」と言われ悩むこともあるかもしれませんが、目の前だけでなく、数年先を見て「生き方が働き方」と自分を信じ、人とのつながりを財産として、助けてもらいながら成長していければいいのではないのでしょうか。



米来 千夏さん

株式会社 新廣
総務人事部課長代理

転職後、妊娠や出産を経て管理職へ

私は今の会社に転職して6年目です。以前の会社は残業や休日出勤が多く、今の会社に転職しました。管理職になることが社内でも女性初ということでプレッシャーもありましたが、気にしても仕方がないし、女性だからといって完璧でなくていいと思えるようになったことで乗り越えました。実は管理職の昇格試験の時期に妊娠がわかり、管理職になったとしても時間的な制約が多くなると思い上司に相談しました。そうしたら上司は「ふーん」の一言！妊娠を特別視するでもなく、昇格試験を勧めてくれました。

時間管理は大変ですが従業員の仕事の節目となる採用や異動に立ち会う今の仕事にやりがいを感じています。また仕事をやるなかで納得できないことがあっても、立場により考え方が違うのは当たり前。納得できないからといって完璧でなくていいので、自分のできる範囲の中でできることを誠実に取り組むようにしています。

女性はコミュニケーションをとることが得意な人が多いと思いますが、仕事をしていく上ではいろんな人の価値観を認めることが大切です。働く女性の皆さんには、昇任の証があれば「やります」と答えてほしいし、管理職になった女性をみんなサポートしてほしいと思います。